

縄文時代～古墳時代

縄文時代

紀元前14000年頃 - 紀元前10世紀頃

(縄のような模様がついた土器)

(食べ終わった貝や魚の骨などを捨てたもの)

(ほった地面に柱と屋根をつけた住居)

(祈り、魔よけのためにつくられた)

弥生時代その1

紀元前10世紀頃-3世紀頃

(赤褐色、薄手でかたい)

(ねずみや湿気をふせぐ)

(祭りのときに使われた)・銅鏡

(村ができはじめ争いも起き始める)

弥生時代その2

中国の歴史書

『漢書』地理志

紀元前1世紀頃日本に100余りの国があったことを示す。

『後漢書』東夷伝

奴国(現在の福岡県)の王が金印を授けられたと示す

邪馬台国の卑弥呼についてが書かれている

(卑弥呼が女王の国)

卑弥呼

(魏に朝貢して『親魏倭王』という称号と金印をあたえられる)

古墳時代

3世紀半ば頃-7世紀末頃

(王と有力な豪族たちから成る勢力)
古墳(前方後円墳世界最大級は)

(大和政権の王) はにわ(古墳にならべられた)

(朝鮮半島から移り住んだ人々)